

ピースデポ主催 2022年度「脱軍備・平和基礎講座」

今を基礎から考える

ピースデポは2021年より、脱軍備と平和に関するさまざまな分野についての基礎的な連続講義を通じて、こうした問題に関心を持つ人々との幅広いつながりを作ることを目的として本講座を実施しています。参加をご希望の方は以下のお申し込み先よりお申し込みください。



講義：2022年5月28日～12月17日
月1回のペースで全8回（詳細は裏面参照）

形式：オンライン（Zoom 配信）

ハイブリッド（オンライン／対面併用）で実施する場合は、別途ご案内を差し上げます。

資料代：3000円（全8回分） 学生・大学院生無料

8回通しの参加が原則ですが、個別の参加も可能です。

※個別参加の場合、資料代は1回500円となります。

お申し込み先：

以下のグーグル・フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/EhqzGHNR5KyqMeTT8>

お問い合わせ先：

メール：watanabeyosuke@peacedepot.org 電話：045-563-5101（担当：渡辺）

通し参加のお申し込み〆切：2022年5月20日（金）

※個別参加は逐次お申し込みが可能です。



ピースデポ主催 2022 年度『脱軍備・平和基礎講座 今を基礎から考える』

第 1 回 5 月 28 日 (土) 14 時～16 時

沖縄返還 50 年の歴史から学ぶ 講師：若林千代 (沖縄大学教授)

日本敗戦から約 20 年の米軍政の支配が続いた沖縄が、本土復帰してから 50 年。いまなお民意に反した米軍基地建設が続く。この歴史が示すものを学ぶ。

第 2 回 6 月 25 日 (土) 14 時～16 時

キラー・ロボットの時代がやってくる！？ 講師：畠山澄子 (ピースボート)

人工知能が学習によって敵を判断し人間を介在させないで敵を殺すロボット兵器の開発の現状と、そこから考えるべき科学技術と戦争、科学技術と社会の問題を考える。

第 3 回 7 月 23 日 (土) 14 時～16 時

被爆者の証言 証言者：丸田和男 (長崎平和推進協会 被爆体験語り部)

核兵器が実際に使用されたらどうなるのか。機会がある限り被爆者の生の言葉から学び続けよう。

第 4 回 8 月 27 日 (土) 14 時～16 時

米中対立、問われる日本 講師：半田滋 (防衛ジャーナリスト)

台湾をめぐる、深まる米中の対立。中国はロシアがウクライナに侵攻したように台湾に武力侵攻するのか。日本は安全保障関連法により、米国の戦争を支援する立場だ。台湾をめぐる米中の対立は、日本有事に発展しかねない。

第 5 回 9 月 24 日 (土) 14 時～16 時

核なき世界へ、核禁条約と核不拡散条約の課題 講師：中村桂子 (長崎大学准教授)

2022 年、核兵器禁止条約と核不拡散条約それぞれの重要会議が開催される。核なき世界に向けて 2 つの条約はどう関係しあうのか。課題は何か。

第 6 回 10 月 22 日 (土) 14 時～16 時

ウクライナと欧州の平和 講師：植田隆子 (外務省 EU 代表部元次席大使・上智大学講師)

東西冷戦終結の原動力となった共通の安全保障の理念はどこへ？ウクライナ情勢からヨーロッパの軍事と平和をめぐる現在を考える。

第 7 回 11 月 26 日 (土) 14 時～16 時 (後援：明治学院大学国際平和研究所)

北朝鮮の核問題と北東アジア非核兵器地帯 講師：梅林宏道 (ピースデポ特別顧問)

北朝鮮の核・ミサイル計画はどう始まったのか。なぜ続いているのか。偏見を乗り越えて正しい解決の道を考える。

第 8 回 12 月 17 日 (土) 14 時～16 時

「ジェンダーと平和」で問われているもの 講師：本山央子 (立命館アジア・日本研究機構専門研究員)

平和にむけた活動や政策においておろそかにできないジェンダーの視点について、押さえておくべき議論や課題から「平和」のつくりかたを考える。